

平成30年度国際環境協力基本研修 実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目的

途上国由来の環境負荷が大きくなっていることから、地球環境問題や広域環境問題の解決には国際環境協力が重要であり、国及び地方公共団体等、各主体の取組が求められている。このため、環境に関する行政又は分析業務を担当している職員であって国際環境協力に関心を有する者に対し、講義、関連施設見学を通じて国際環境協力に関する基本的知識を習得し、国際環境協力への関心を高め、国際環境協力への参加の動機付けを目的とした研修を実施する。本研修では、国際環境協力の先進地である北九州市の豊富な知見を共有し、国際環境協力の問題や課題について討議するとともに、全員合宿による研修生間の交流を通じて、相互啓発及びネットワーク形成を図る。

2. 期間及び会場

- (1) 期間： 平成31年2月4日（月）～2月8日（金）（5日間）
- (2) 場所： AIMビル 〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-8-1 TEL:093-551-8827

3. 教科内容

裏面のとおり

4. 研修予定人数

30名

5. 受講資格

次の各号のいずれかにも該当する者とする。

- (1) 国及び地方公共団体等において環境に関する行政又は分析業務を担当している職員で、国際環境協力について関心を有する者
- (2) 研修受講に支障のない健康状態にある者
- (3) 所属長の推薦を受けた者

6. 研修生の推薦の有無

研修生を推薦する場合は、別紙様式による被推薦者の「略歴書」を**12月13日（木）《必着》**までに、環境調査研修所所長あて文書により通知する。

なお、研修生を推薦しない場合においても、推薦期限までにその旨を文書（研修担当者からの事務連絡もしくは公用メールによる連絡でも可）にて通知すること。

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

環境調査研修所所長は、所定の課程（原則として1割以上欠課した者を除く。）を受講した者に対して修了証書を交付する。なお、受講の状態については、研修終了後、所属長に通知する。

9. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

- (1) 往復に必要な旅費（ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する）
- (2) 滞在費（ただし、宿泊施設は環境調査研修所が借り上げるため、費用負担は不要。国家公務員（独立行政法人の職員を除く。）については、日額旅費を環境調査研修所から支給する。）

* 次の情報を環境調査研修所ホームページ（URL <http://www.neti.env.go.jp>）に掲載していますので御参照ください。

- ◎ 「研修ガイドブック」（研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しています。）
- ◎ 「実施要綱」・「略歴書」様式

教科目	時間
I 国際環境協力の意義と実態を理解する	
1【基調講義】我が国の国際環境協力の現状と課題 ・我が国の環境行政の動向を踏まえつつ、開発途上国等に対する我が国の環境協力の現状及び課題、今後の方向性について、概要を理解する。	1時間30分
2【講義】北九州市における国際環境協力への取り組みとアジア低炭素化センターについて	1時間30分
3【講義】途上国の環境問題の実状 ・途上国における環境問題の実状について理解を深める。	1時間30分
4【事例紹介】JICA国際研修への取り組み ・ODAのスキームのひとつである国際研修がどう実行されているかを理解する。	1時間20分
5【海外協力経験者とのディスカッション】 ・海外協力経験者との対話を通じて、海外協力の実態を理解する。	1時間20分
6【海外からの留学生とのディスカッション】 ・北九州市内の大学に留学している留学生との対話を通じ、海外の実態を理解する。	1時間20分
II 国際環境協力のベースとなるフィールドについて学ぶ（北九州市の事例）	
7【現場見学】北九州市における環境関連施設を訪問し、環境協力分野の実態を理解する。	5時間40分
III 国際環境協力の具体的な実施事業を知る	
8【事例紹介】様々な主体・枠組みによる国際協力の取り組み	1時間30分
9【事例紹介】草の根技術協力活動 マレーシア食品廃棄物管理改善	1時間30分
10【事例紹介】上下水道環境改善への取り組み（北九州市）	1時間30分
11【事例紹介】福岡県における国際環境協力の取り組み～福岡方式処分場の導入による環境改善～	1時間30分
IV 得られた知識を活用するために	
12【演習】アクションプラン作成、グループ討議	3時間30分
13【総括講義】日本の国際協力の現状と自治体等への期待	1時間30分
V その他	1時間30分
開・閉講式、オリエンテーション	
合計	26時間40分

注) 都合により一部変更になることがあります。

※開講式は10時00分から行います。

※最終日の閉講式終了時刻は13時00分頃を予定しておりますが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。帰路の航空機、列車等の都合により、講義や閉講式等を欠席することは認めません。